



買い取ったPCのデータ消去作業

- 本社所在地：東京都葛飾区
- 事業概要：PC等の買取、販売、データ消去、産業廃棄物処分及び処理業、リサイクルPC等販売、就労移行支援・就労定着支援事業
- 常時使用する従業員：272名
(グループ全体2025年6月時点)
- 現在の売上高：45億円
(グループ全体 2025年6月期)
- 法人番号：6011801000116
- Web：https://www.anchor-net.co.jp

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
碓 隆司

万人万物共存共生

使い終わったお客様のところから必要としているお客様の元へ。物の命の循環を見守り、一つのステージで役目を終えた物に、次の最適なステージを見つけることが我々の使命です。IT機器の資源管理の取組は、LCMと呼ばれ、ITを使用する企業において、機器の導入から廃棄までを対象としますが、企業の廃棄IT機器のその後の活用を保证するものではありません。循環経済を実現するには、資産・資源の両方の観点から「ライフサイクルアセスメント（LCA）」の考え方にそって「廃棄された製品を最高度に活用する」プレイヤーが必要です。リユースとリサイクルの両方の専門的知見と能力をもとに、「最高度の活躍を促進する」サーキュラーエコノミーの一翼を担うプレイヤーたることを目指しています。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2031年の売上高達成に向け、アンカーネットワークサービスグループとして、年率14%程度の成長を目指します。
個別には、「(株)アンカーネットワークサービス」で年率14%、「(株)アンカーリサイクルポート」で年率12%、「(株)レンタルPCネット」で年率34%を見込んでいます。

課題

- ・国内外拠点強化
- ・各工程DX化によるボトルネックの解消
- ・サーキュラーエコノミーを踏まえた再資源化
- ・小型家電認定事業者の取得
- ・リサイクルPCの販路拡大
- ・LCMを活用した障がい者雇用
- ・代理店、パートナー開拓

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・地方拠点の立ち上げ
- ・海外からの基板輸入強化
- ・関東拠点拡大集約、集約後物流効率化のため生成AI等の活用
- ・ハイパースケーラーとのマーケットモデル構築
- ・小型家電認定事業によるリサイクルの強化
- ・リサイクルPC自社ブランド化
- ・障がい者のための福祉事業所新設
- ・LCMを活用した障がい者雇用サテライトオフィス拡大
- ・既存事業及びレンタル事業を通じてLCM事業の展開

実施体制

- ・経営企画戦略統括本部において本事業を総括
- ・プロジェクトチームにおいて進捗管理
- ・プロジェクトチーム専門部会において役割分担

アンカーネットワークサービスグループの取り組み

当グループは、リユース業界で当時誰も取り組まなかったリサイクル事業（中間処理）に進出、ISOやR2（リユースとリサイクル全般の包括的な標準）の取得など未踏の領域に自ら取り組み、つなげることによって、従来の3 R業界では顧みられなかった「どのような扱いにすれば次のステージで輝けるのか」を主たる価値づくりの源泉として取り組んでいます。当グループでは、製品としてその活動を終了したものは、次に資源として最大限活用されるよう、手作業で分別を行い、利用用途に要求される品質、素材ごとに最適化できるチャンネルに託し、サーキュラーエコノミーに貢献しております。また、障がいのある方々の就労機会の拡大と質の高い雇用の創出を通じ、地域社会の多様性を尊重し、持続可能な循環型社会の構築に寄与しています。

個別の重点事業は、「㈱アンカーネットワークサービス」ではハイパースケーラーとのマーケットモデルを構築して取引の拡大、海外から基板輸入を強化してマテリアルの確保、また、IT分野に特化した障がい者の支援事業を拡充し、社会的に需要の高いデジタル人材の育成に取り組むことで、障がい者を雇用するだけでなく、障がい者の能力を最大限に活用し、地域社会と企業に貢献できるような雇用を実現していきます。「㈱アンカーリサイクルポート」では、小型家電リサイクル事業によりさらなる資源循環に寄与を通じ取引を拡大してきます。「㈱レンタルPCネット」では、導入、トラブル対応、保守、システム運用などパッケージメニュー提供によるLCM事業の展開を行っていきます。

売上高

